

# 入札説明書等に関する質問の回答

2020年11月9日

(件名) 北九州市立大学新学務システムの借入れ及び保守

| No | 資料名                   | ページ<br>番号 | 項目名                                   | 質問内容                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 回答内容                                                                                                                             |
|----|-----------------------|-----------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 契約書案                  | 2         | 第8条                                   | ①データ消去作業（作業報告書提出）は落札者が行なう必要がありますでしょうか。<br>②必要な場合、消去方法について指定はありますでしょうか。（リフト上書き、物理破壊、磁気破壊等）また対象機器を教えてください。<br>③リフト上書き消去可の場合、消去回数の指定はありますでしょうか。（1回上書き、3回上書き等）<br>④データ消去作業は引取後で宜しいでしょうか。それとも設置場所での作業（ワザイト作業）が必須でしょうか。<br>⑤データ消去作業報告書の提出は必要でしょうか。物理破壊の場合、写真は必要でしょうか。                       | 対象機器は今回調達する物品です。<br>①あります。<br>②ありません。<br>③2回以上です。<br>④引取後で構いません。<br>⑤「消去対象機器一覧」、「対象媒体の消去結果（ダンプリスト等）」、「ハードディスク内部の写真（破壊の場合）」が必要です。 |
| 2  | 入札説明書                 | 4         | 1 0 (1)                               | 入札書提出の際、封筒に入れる必要（封印）ありますか                                                                                                                                                                                                                                                             | 郵送による入札参加の場合は、厳封をお願いします。                                                                                                         |
| 3  | 入札説明書                 | 5         | 1 1 (1)                               | 契約保証金免除について、他官庁の契約書写しや履行証明書が必要でしょうか。<br>必要の際は条件を教えてください<br>（2年以内に満了を迎えたもの、同種同規模等）                                                                                                                                                                                                     | 必要な場合は、落札者決定時にお知らせいたします。<br>（本学の契約規程第27条第6項第3号による。）                                                                              |
| 4  | 入札書                   | -         | 金額                                    | 入札書に記載する金額は、リース終了時のHW等の撤去作業費用も加味した金額という認識でよいでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                    | 撤去作業費用を含みます。                                                                                                                     |
| 5  | 提案書S00-S21<br>T01-T14 | -         | 全ページ                                  | 提案書のご提示に際し、体裁は雛形の通り（A4縦、Wordファイル）である必要がありますでしょうか。それとも、記載内容に漏れがなければ体裁は適宜こちらで調整（例えばA4横、パワーポイント資料）してもよいでしょうか。                                                                                                                                                                            | サイズはA4で縦横は問いません。<br>ファイル形式はword または パワーポイントです。PDF等加工できないものは不可とします。また様式の番号S**、T**の記述をお願いします。                                      |
| 6  | 仕様書                   | 7         | 4.留意事項等<br>4.2 提案に関する留意事項 (3)<br>3)   | 「提案をするにあたっては、仕様書に記載された要求要件の各項目に対応するように提案書類を提出すること。特に本学が指定した機能については、標準機能、カスタマイズ機能とも画面イメージ・機能概要等を提出すること。」につきまして、全ての要求要件において、標準機能、カスタマイズ機能とも提案の根拠となる画面イメージや機能概要を用意する認識でありますが、「特に本学が指定した機能について」とはどの部分を指しているのでしょうか。<br>「2.2.1 ソフトウェアに関する要件」の下線部分がそれを示しているのでしょうか。下線部分の意味も含めてご教示いただけないでしょうか。 | 提案書S00-S21のことです。<br>下線部については、提案書の記述を具体的にお願いします。                                                                                  |
| 7  | 入札説明書                 | 4         | 1 0 入札および開札に関する事項<br>(1) 入札及び開札の場所と日時 | 「ウ 提出書類 入札書 1部、委任状 1部（代理人が入札する場合）、提案書 10部、技術評価表 2部、提案書および技術評価表の電子データ（Word,Excel ファイル）が入ったCD-ROM 1枚」につきまして、提案書 10部とありますが、この提案書は貴学指定の「07.提案書S00-S21」「08.提案書T01-T14」に加え、「02.仕様書」の「4.留意事項等」に記載されている必要な説明資料、誓約書なども別紙として提出する認識で合っておりますでしょうか。                                                | 主要な機能が製品化されている場合は不要です。<br>ただし、バージョンアップが予定される製品を提案する場合は必要です。<br>"誓約書"は仕様書記述の"確約書"とみなします。                                          |

# 入札説明書等に関する質問の回答

2020年11月9日

(件名) 北九州市立大学新学務システムの借入れ及び保守

| No | 資料名         | ページ<br>番号    | 項目名                                                        | 質問内容                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 回答内容                                                                                                            |
|----|-------------|--------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8  | 落札者決定<br>基準 | 5            | 2 技術評価点の算定<br>2-1 技術等提案の評価(様式<br>_技術評価機能確認表、様式<br>S01～S21) | 「サブシステム単位の評価率は、分子は自己評価の合計点、分母は評価項目数×5点で計算する。」につきまして、下記の算出方法で認識合っていますでしょうか。また、様式 S01～S21 に記載の提案内容はどのように評価されるのでしょうか。<br>例：01共通管理 配点20点<br>評価項目数：32項目(◎16項目、▲16項目)<br>・分母(評価項目数×5点)：32項目×5点＝160点<br>・分子(自己評価の合計点)<br>(◎16項目×5点)＋(▲16項目×3点)＝128点<br>・評価率＝128点／160点＝80%<br>・技術評価点＝配点20点×評価率80%＝16点 | ご認識のとおりです。                                                                                                      |
| 9  | 仕様書         | 36<br>(10)   | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(3) 学籍管理システム G. 卒業、年次処理 1) ④⑤        | 判定結果を元に『卒業進級留年設定』で進級または留年を設定していただく仕様となっておりますが、そのイメージで合っておりますでしょうか。『卒業進級留年設定』の画面には、判定結果の条件があるため、卒業対象者や、留年対象者は予めフィルターすることが可能です。                                                                                                                                                                 | すべての学生について進級(卒業)または留年の設定を行なわなくてもどちらか設定をすればよいというイメージです。<br>④の最終学年では「卒業」設定以外は「留年」、⑤では「留年」設定以外は「進級」に自動的になるという仕様です。 |
| 10 | 仕様書         | 56<br>(1)    | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(7)学費システム A 学費請求準備 1)                | 「入学年度」に対する単価を一度登録すると、その単価を使い続けることができるようになっております。「年度管理」は「入学年度管理」と読み替えても問題ありませんでしょうか。                                                                                                                                                                                                           | 単価は改定される場合があります。<br>現行システムでは、毎年その年の単価を入学年度毎に登録しています。<br>改定が発生した場合に、入学年度の範囲指定で設定できればどちらの管理でもかまいません。              |
| 11 | 仕様書         | 56<br>(1)    | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(7)学費システム A 学費請求準備 2)                | 学費納期につきましては、年度によって異なってくるのが想定されますので「入学年度毎」は「処理年度」と読み替えても問題ありませんでしょうか。                                                                                                                                                                                                                          | ご指摘のとおりです。<br>処理年度が正しいです。                                                                                       |
| 12 | 仕様書         | 66<br>(2)    | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(9) 証明書管理システム A 証明書管理 13) ②          | 「学位授与式当日の出力はチェックを入れた場合は出力できること。」とありますが、こちらは証明書自動発行機の要件ということでしょうか。                                                                                                                                                                                                                             | 証明書自動発行機の要件ではありません。<br>学位授与式当日は卒業日のため学生が証明書自動発行機で出力することができません。当日窓口で職員が手動で出力する場合、いったん「在籍」にして出力したあと、「卒業」に戻しています。  |
| 13 | 仕様書         | 67<br>(3)    | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(9) 証明書管理システム A 証明書管理 15) ②          | 修学簿の印刷機能は必要でしょうか。<br>05 成績管理－D WEB 機能－2)－③の要件は、WEB機能に関する要件であると理解しております。                                                                                                                                                                                                                       | ご指摘のとおりです。<br>(9) 証明書管理システムでの印刷機能は不要です。                                                                         |
| 14 | 仕様書         | 79<br>(4)    | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(14) 履修カルテシステム<br>F 副専攻(グローバル)管理 4)  | ここでの成績データ作成というのはファイル出力が必要なのでしょうか。それともある条件のもとに履修状況確認表に結果として出力できれば良いのでしょうか。                                                                                                                                                                                                                     | ご指摘のとおりです。                                                                                                      |
| 15 | 仕様書         | 80-81<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(15) 出席管理システム D WEB<br>出席状況の参照 1) ③  | 「備考」はどこから登録されたデータを表示することを想定されているでしょうか。(出欠状況参照機能(教職員画面)などにおいて、「備考」を登録できるようにカスタマイズを行う必要があるでしょうか。)                                                                                                                                                                                               | 必要です。                                                                                                           |
| 16 | 仕様書         | 102<br>(1)   | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(22) データ移行 B データ移行<br>対象システム 2)～(6)  | 可能な範囲で構いませんので、(2)～(6)のシステムで管理しているテーブル(もしくはデータの種類)と項目の一覧などの情報をご提供いただけないでしょうか。                                                                                                                                                                                                                  | ご希望があればデータを送付いたします。                                                                                             |

# 入札説明書等に関する質問の回答

2020年11月9日

(件名) 北九州市立大学新学務システムの借入れ及び保守

| No | 資料名 | ページ<br>番号 | 項目名                                                             | 質問内容                                                                                                                                                                                         | 回答内容                                                                               |
|----|-----|-----------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 17 | 仕様書 | 4<br>(4)  | I. 仕様書概要説明<br>(00) 表紙<br>2. 調達物品名および構成内訳<br>2.2.1. ソフトウェアに関する要件 | 奨学金システムは対象外でしょうか。                                                                                                                                                                            | 対象外です。                                                                             |
| 18 | 仕様書 | 17<br>(1) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(1)共通管理システム<br>A.ユーザ管理 9)                 | 新入生・在学生・教職員・保護者（ひもつく学生）に対して、対象者の検索を行い、ユーザ情報（ユーザID、ユーザ区分、グループ、初期パスワード、有効期限）を一括登録する機能を有すること。<br>新入生の利用機能は学務システムTOPページ(ポータル)のみでしょうか。<br>また保護者の利用機能は学務システムTOPページ(ポータル)、WEB成績照会、WEB出席状況で<br>しょうか。 | 新入生は在学生に含まれていますので、在学生と同じ扱いをお願いします<br>保護者については、ご認識のとおりです。                           |
| 19 | 仕様書 | 20<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(2)入試システム<br>B. 入試マスタ 5)                  | 帳票ヘッダ・フッタ設定に関して以下の要件を満たすこと。<br>① 入試システムで使用する帳票に出力するヘッダ・フッタ情報を登録する機能を有すること。<br>ヘッダ・フッタ情報の管理とありますが、例えばどのようなものでしょうか。                                                                            | 現行システムでは、<br>ヘッダは「北九州市立大学」および「北九州市立大学 大学院」<br>フッタは「北九州市立大学広報入試課入学試験係」<br>を登録しています。 |
| 20 | 仕様書 | 20<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(2)入試システム<br>B. 入試マスタ 8)                  | 入学区分マスタ設定に関して以下の要件を満たすこと。<br>② 登録項目は、入学区分コード、入学区分名、入学区分略、入学扱い、表示順とすること。<br>入学扱いとはフラグのイメージ(1：入学、0：辞退)のようなものでしょうか。                                                                             | ご認識のとおりです。<br>0：未設定、1：入学、2：辞退 を設定します。                                              |
| 21 | 仕様書 | 20<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(2)入試システム<br>C. 入試準備 4)                   | 入試試験科目設定に関して以下の要件を満たすこと。<br>②登録項目は、試験区分、所属 1、所属 2、試験科目、試験科目詳細情報(必選区分、用途区分（一般・面接）、採点区分（小問・素点等）、評点係数、配点、傾斜配点、時限、判定資料表示フラグ)とすること。<br>所属 1、所属 2 にはそれぞれの所属を管理するのでしょうか。<br>要件所属と履修コースでしょうか。        | 所属 1 は、学部 または 研究科（所属 1 階層目）<br>所属 2 は、学科 または 専攻 + コース等（所属 2 階層目以下）で<br>す。          |
| 22 | 仕様書 | 21<br>(3) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(2)入試システム<br>D. 志願者受付 3)                  | 志願者調査書データ設定に関して以下の要件を満たすこと。<br>① 志願者調査書データを一括設定する機能を有すること。<br>調査書の項目はどのような項目を想定していますか。                                                                                                       | 「評定平均」および「内申概要」です。                                                                 |
| 23 | 仕様書 | 23<br>(5) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(2)入試システム<br>G. 試験結果設定 1)                 | 試験結果設定に関して以下の要件を満たすこと。<br>② 一覧表示項目は、受験番号、得点、状態とすること。<br>状態とは、出席、欠席、放棄などの受験状態のことでしょうか。                                                                                                        | 欠席者に対して、“欠席”を登録します。                                                                |
| 24 | 仕様書 | 24<br>(6) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(2)入試システム<br>H. 可否選考 2)                   | 加重点設定に関して以下の要件を満たすこと。<br>① 試験区分・試験科目および所属毎に加重点を設定する機能を有すること。<br>加重点とは受験生の科目毎に設定するものでしょうか。また、加重点は合計点に含まれるでしょうか。                                                                               | 科目ごとに設定します。<br>合計点に含まれます。                                                          |
| 25 | 仕様書 | 25<br>(7) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(2)入試システム<br>J. 年次処理 1)                   | 入試年次処理に関して以下の要件を満たすこと。<br>② 志願者合格者のデータを教務に移行する機能を有すること。<br>教務に移行するデータは合格者でしょうか、手続辞退者は含まれますか。                                                                                                 | 具体的には、入学手続設定で登録したデータを移行します。                                                        |

# 入札説明書等に関する質問の回答

2020年11月9日

(件名) 北九州市立大学新学務システムの借入れ及び保守

| No | 資料名 | ページ<br>番号 | 項目名                                                 | 質問内容                                                                                                                                                                                     | 回答内容                                                                    |
|----|-----|-----------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 26 | 仕様書 | 28<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(3)学籍管理システム<br>B. 入学者情報の設定 2) | 以下の入力項目を有すること。<学籍基本情報>学籍番号、旧学籍番号（以前当大学に在籍していた者のみ）、入学区分、入学学年、要件年月、秋入学フラグ、入学年月日、再入学フラグ、再入学年月日<br>要件年月とありますが、要件月は学生によって異なるものでしょうか。カリキュラムも要件年月毎に発生するものでしょうか。また1度設定した要件年月は変更がないものと考えてよいでしょうか。 | 要件月は、春（4月）、秋（9月）入学があります。<br>カリキュラムは要件年月毎に発生します。<br>1度設定した要件年月の変更はありません。 |
| 27 | 仕様書 | 29<br>(3) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(3)学籍管理システム<br>B. 入学者情報の設定 5) | 学籍番号付番に関して、固定文字、桁数、有効桁数を登録する機能を有すること<br>学籍番号の採番は、学籍データへ登録後に再採番することはありますか。                                                                                                                | ありません。                                                                  |
| 28 | 仕様書 | 33<br>(7) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(3)学籍管理システム<br>C. 学籍管理 12)    | 転部転科学生設定に関して以下の要件を満たすこと。<br>⑩ 登録項目は異動年度（初期値は年）、異動開始日、異動区分、新学籍番号、異動先所属、異動先学年、異動先要件、成績情報移行フラグ（初期値ON）とすること。<br>「異動先要件」とは異動先の要件年月のことでしょうか。                                                   | ご認識のとおりです。                                                              |
| 29 | 仕様書 | 37<br>(1) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(4)履修管理システム<br>A 授業科目管理 3)    | 時限設定は、設置区分毎に設定でき、時限、開始時刻、終了時刻を設定できること。<br>設置区分により時限が異なることですが、キャンパス間移動などは発生しないのでしょうか。                                                                                                     | キャンパス間移動はあります。<br>以前は時限の開始時刻、終了時刻が2つのキャンパスで異なっていた<br>が、現在は同じ時刻になっています。  |
| 30 | 仕様書 | 37<br>(1) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(4)履修管理システム<br>C 講義コード管理 1)   | 講義コードとはひとつの授業ごとに付与される固有のコードのことを言う。<br>講義コードとは年度内で一意という認識で正しいでしょうか。<br>同じ講義コードでも年度が異なれば授業も異なる認識でよいでしょうか。                                                                                  | 年度内で一意です。<br>同じ場合も、異なる場合もあります。                                          |
| 31 | 仕様書 | 38<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(4)履修管理システム<br>C 講義コード管理 6)   | 講義コード情報（＝開講曜日時限等の情報）を登録、更新、削除する機能を有すること。<br>⑤ 所属毎に開講科目の決定（講義コード登録）ができること。<br>b. 「開講」は毎年開講、隔年開講、3年開講、その他のパターンを識別できること。<br>「開講」のパターンはどのように使用されるのでしょうか。                                     | カリキュラム作成時の識別に利用します。<br>“隔年開講”の場合、昨年は“未開講”なので今年は“開講”するという区分で<br>す。       |
| 32 | 仕様書 | 38<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(4)履修管理システム<br>C 講義コード管理 6)   | 講義コード情報（＝開講曜日時限等の情報）を登録、更新、削除する機能を有すること。<br>⑩ 半期開講、連続時限、集中講義、通年授業、年度跨り科目等の管理ができること。<br>年度跨り科目の場合、次年度も同じ属性（教員名、教室、曜日時限）でしょうか。<br>次年度の属性は変わる可能性はあるでしょうか。                                   | 変わる可能性があります。                                                            |
| 33 | 仕様書 | 44<br>(8) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(4)履修管理システム<br>E 履修管理 23)     | 履修者名簿出力に関して、以下の要件を満たすこと。<br>④ 履修者名簿上の学生の並び順は「親科目カナ名子科目カナ順・所属・学籍番号順、親科目カナ子科目カナ順・学籍番号順」から選択できること。<br>科目の親子関係がない場合は、子科目と同様に考えてよいでしょうか。                                                      | 科目の親子関係がない場合は、親科目です。                                                    |
| 34 | 仕様書 | 46<br>(1) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(5)成績管理システム<br>A 成績管理 8)      | 成績の評価方法は要件年度範囲・所属毎に、使用する評語の組み合わせを設定できること。<br>③ 可否区分は、「合格、不合格、評価不能」から選択できること。<br>「評価不能」は不合格と同じ扱いとなるでしょうか。<br>それとも評価保留となり、次年度に残るのでしょうか。                                                    | “評価不能”の評価点は0（ゼロ）扱いで“不合格”です。<br>本学修学簿の表示は“-”です。                          |
| 35 | 仕様書 | 47<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(5)成績管理システム<br>A 成績管理 15)     | 除籍者などの当該学期の履修・成績科目を自動で削除機能を有すること。<br>自動で削除するタイミングは、期末処理のタイミングでしょうか。                                                                                                                      | 学費未納除籍者や休学等の異動が確定したタイミングです。                                             |

# 入札説明書等に関する質問の回答

2020年11月9日

(件名) 北九州市立大学新学務システムの借入れ及び保守

| No | 資料名 | ページ<br>番号 | 項目名                                                       | 質問内容                                                                                                                                        | 回答内容                                                                            |
|----|-----|-----------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 36 | 仕様書 | 48<br>(3) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(5)成績管理システム<br>A 成績管理 20)           | 成績の集計に関して以下の機能を有すること。<br>⑤ 出力項目は、パターンNo、認定年度、認定学期、担当教員コード、担当教員名、担当教員名フリガナ、・・・<br>「認定年度」「認定学期」とは成績確定の年度、学期でしょうか。<br>(通年授業の場合は後期が認定学期となるイメージ) | ご認識のとおりです。                                                                      |
| 37 | 仕様書 | 49<br>(4) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(5)成績管理システム<br>B 進級・卒見・卒業・修了判定管理 4) | 判定グループ割当設定に関して以下の要件を満たすこと<br>① 判定グループに対して学生を設定できる機能を有すること。<br>学生個別の判定グループの設定が必要でしょうか。<br>要件年月、要件所属、履修コース、学年が同じであれば同じ判定グループとはならないでしょうか。      | 基本的には、ご指摘のとおりですが特定の留学生を予定しています。                                                 |
| 38 | 仕様書 | 53<br>(1) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(6)定期試験システム<br>A 定期試験管理 7)          | 試験対象科目データ作成に関して以下の要件を満たすこと。<br>① 所属単位に、開講科目全てに対して一括作成または、指定した科目に対して試験科目を作成できること。<br>講義コードをもとに開講科目を判断するイメージでしょうか。                            | ご認識のとおりです。                                                                      |
| 39 | 仕様書 | 57<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(7)学費システム<br>A 学費請求準備 9)            | 保証人、納通先情報を(本学指定のフォーマット)、CSV ファイルにより一括登録ができること。<br>保証人は学籍管理の連絡先情報(保証人、保護者)とは異なる情報でしょうか。                                                      | 同じ情報です。                                                                         |
| 40 | 仕様書 | 57<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(7)学費システム<br>B 学費計算 1)              | マスタで設定した単価、納期を基に、在校生の学費を一括計算できること。<br>受験生の学費(入学金、授業料など)も同じ学費システムで管理するのでしょうか。                                                                | 受験生の検定料は学務システムでは管理しません。<br>入学者の入学金は学務システムでは管理しません。<br>在学生の授業料は学務システム「学費」で管理します。 |
| 41 | 仕様書 | 58<br>(3) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(7)学費システム<br>C 学費請求 4)              | 免除確定設定に関して、複数対象者を選択し、一括で免除区分、決定日を登録できること。<br>学生から入金後に免除が決定する場合はありますか。<br>その場合、どのような運用になりますでしょうか。                                            | 学生から入金後に免除が決定する場合があります。<br>その場合は還付が発生します。<br>システム上は、免除確定および授業料入金済みとしています。       |
| 42 | 仕様書 | 58<br>(3) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(7)学費システム<br>E 学費入金 5)              | 学費入金データ取込に関して以下の要件を満たすこと。<br>② バーコードを読み込む機能を有すること。<br>バーコード読込の機能とはスキャナなどの機器で読み込むイメージでしょうか。                                                  | ご認識のとおりです。                                                                      |
| 43 | 仕様書 | 61<br>(1) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(8)健康管理システム<br>B 健康診断データ管理 3)       | 健診業者に合わせた取り込みフォーマットの変更ができること。<br>健診業者は1件のみでしょうか。<br>また、貴学指定の健診データフォーマットと健診業者のフォーマットは異なるものでしょうか。                                             | 健診業者はキャンパスで異なることがあります。<br>データは本学指定のフォーマットに合わせています。                              |
| 44 | 仕様書 | 63<br>(3) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(8)健康管理システム<br>E 統計データ 1)           | 平均身長、平均体重、BMI、受診率、有所見率、健康診断受診状況(健診日別/学年別・学科別/大学院生学年別・学科別)を健診種類単位に集計できる機能を有すること。<br>統計データは年度単位の統計でしょうか。<br>遡って過去の統計を集計することはありますか。            | 年度単位です。<br>遡って過去の統計を集計することがあります。                                                |
| 45 | 仕様書 | 66<br>(2) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(9)証明書管理システム<br>A 証明書管理 8)          | 種類別証明書発行に関して以下の要件を満たすこと。<br>③ 対象者のデータ取込により、指定の証明書を印刷する機能を有すること。<br>対象者のデータ取込のキーとなるのは学籍番号の認識で正しいでしょうか。                                       | ご認識のとおりです。<br>種類別ですので、証明書を区別するコードも必要です。                                         |

# 入札説明書等に関する質問の回答

2020年11月9日

(件名) 北九州市立大学新学務システムの借入れ及び保守

| No | 資料名 | ページ<br>番号  | 項目名                                                       | 質問内容                                                                                                                                    | 回答内容                                                                                       |
|----|-----|------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 46 | 仕様書 | 66<br>(2)  | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(9)証明書管理システム<br>A 証明書管理 8)          | 種類別証明書発行に関して以下の要件を満たすこと。<br>⑤ 成績の出力時のみ、出力対象（在学生、離席生）のチェックと、出力者数のチェックを行うこと。<br>チェック結果が不一致の場合の動作はエラーとして終了でしょうか、それともアラートを表示し処理を続行するのでしょうか。 | チェック結果が不一致の場合の動作はエラー内容を表示し終了です。                                                            |
| 47 | 仕様書 | 66<br>(2)  | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(9)証明書管理システム<br>A 証明書管理 8)          | 学生別証明書発行に関して以下の要件を満たすこと。<br>③ 設置分類コードにより卒業予定年月の表示が切り替わること。<br>設置分類コードとは大学・大学院のことでしょうか。<br>(卒業・修了の表示切替でしょうか)                             | ご認識のとおりです。                                                                                 |
| 48 | 仕様書 | 67<br>(3)  | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(9)証明書管理システム<br>B 証明書自動発行機管理 1)     | 学生が自分で証明書の発行を行うための、証明書自動発行機を提供すること。<br>既存の証明書発行機はどこの会社の何を使っていますでしょうか。                                                                   | 株式会社 日立製作所「UNIPROVE/SS」です。                                                                 |
| 49 | 仕様書 | 72<br>(2)  | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(11)受講者数調整機能<br>C【事務】抽選優先条件設定 1)    | "学年"、"編入学生"について優先的に当選できるような設定ができること。<br>学年、学生種別の他に必要な抽選優先条件はありますでしょうか。                                                                  | 学年、学生種別の他には無い予定です。                                                                         |
| 50 | 仕様書 | 87<br>(6)  | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(16)就職管理システム<br>E 卒業生管理 3)          | 卒業生在職確認入力に関して以下の要件を満たすこと。<br>① 企業から返送された在職者名簿から卒業生の在職確認情報を登録する機能を有すること。<br>在職確認情報とは卒業生の勤務先情報とは異なるのでしょうか。<br>どのような項目を想定していますでしょうか。       | ご認識のとおり勤務先情報です。<br>企業コードから進路決定（就職）した卒業生を照合し、一覧を表示します。<br>選択した卒業生の"在職"、"退職"、"入社事実なし"を登録します。 |
| 51 | 仕様書 | 102<br>(1) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(22)データ移行<br>A データ移行に関する留意事項<br>(1) | 現行システムのデータ抽出は本学で実施する。<br>各システムでデータベースシステムが異なりますが、どのような形式で抽出いただけるのでしょうか。                                                                 | CSV、TSV、Excelを予定しています。                                                                     |
| 52 | 仕様書 | 102<br>(1) | 2.2.1 ソフトウェアに関する要件<br>(22)データ移行<br>B データ移行対象システム          | 各システム、移行対象データの年数は何年分でしょうか。<br>また各データのボリュームを教えてくださいませんか。                                                                                 | 1989年入学生から、約40,000名のデータがあります。<br>関係するデータは、約100Gです。                                         |